

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和60年 2,930,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日	職員数	74		
構造	SRC造	階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積	6412.09㎡			
	延床面積	12073.87㎡			
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	56台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	200台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	TM共同事業体		期間	平成28年4月1日 平成31年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営(小体育室、トレーニングルーム、温水プール、コミュニティホール、管理事務室、キッズルーム、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室) ②教室・講習会(固定会員制教室、3期制スポーツ教室、自由会員制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	団体利用者数(人)	262,281	271,688	274,339	267,445	0
	個人利用者数(人)	192,277	221,455	228,278	217,745	0
	教室受講者数(人)	135,243	156,020	157,427	147,100	0
	大体育室稼働率(%)	91	91.0	91	92	0
	小体育室稼働率(%)	87	90	90	89	0
	教室開催数(回)	6,546	7,186	7,154	6,991	0
	教室申込率(%)	67	70	72	69.0	0
	開館日数(日)	359	358	358	344	0
	に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	111,079	102,968	99,957	97,122
指定管理者の支出合計(千円)		263,824	272,991	273,878	268,587	0
指定管理者の人件費(千円)		113,869	109,836	117,507	118,247	0
指定管理者の利用料金収入(千円)		140,034	163,709	162,415	151,921	0
備考	・団体利用者数、個人利用者数、教室受講者数ともに順調に増加している。 ※平成30年度は、大規模改修工事の事前準備に伴い3月中旬から全館休館となったため、個人利用者数、教室受講者数、教室開催数が減少している。					

III 財務諸表

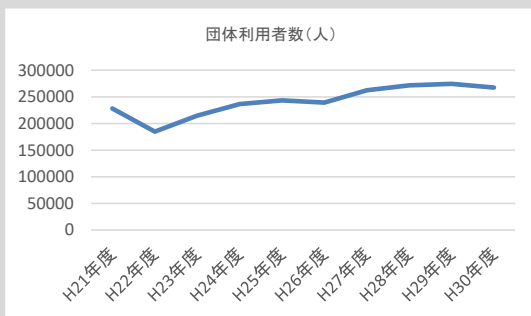
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	100,956	112,782	11,826	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	47	47	0	使用料及び手数料	7,503	7,359	▲ 144
	減価償却費	79,066	79,066	0	その他	8,486	2,341	▲ 6,145
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	15,989	9,700	▲ 6,289
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 164,080	▲ 182,195	▲ 18,115
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	▲ 1,402	▲ 1,402
	行政費用合計(b)	180,069	191,895	11,826	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 164,080	▲ 183,597	▲ 19,517
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 164,080	▲ 183,597	▲ 19,517	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,374,568	1,295,502	▲ 79,066	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,055,377	1,055,377	0	固定負債	0	828,000	828,000
	建物	2,928,362	2,928,362	0	特別区債	0	828,000	828,000
	建物減価償却累計額	▲ 2,609,171	▲ 2,688,236	▲ 79,065	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	11,725	11,725	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 11,725	▲ 11,725	0	負債の部合計	0	828,000	828,000
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,424,948	1,829,268	404,320
建設仮勘定	50,380	1,361,766	1,311,386	正味財産の部合計	1,424,948	1,829,268	404,320	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,424,948	2,657,268	1,232,320	
資産の部合計	1,424,948	2,657,268	1,232,320					
備考	行政費用の物件費について、大規模改修工事の関係で発生した不用品廃棄のため平成29年度と比較して増加した。行政収入では、自動販売機の行政財産使用料(使用料)、指定管理者からの収益還元(その他)があったが、平成30年度は大規模改修工事準備のため3月中旬から休館したことに伴い、ともに減少した。							

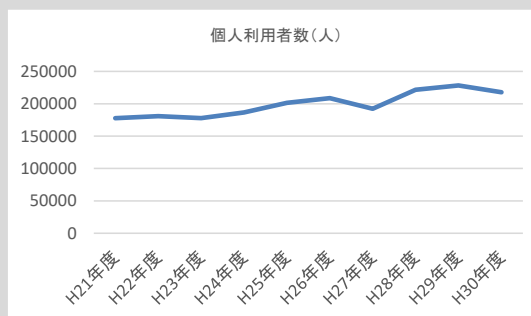
指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	87	89	91.8	
1㎡当たりコスト(円)	-	15,297	14,914	15,893	
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	40	43	44.0	
利用者1人当たりコスト(円)	-	285	273	303	
区民1人当たりコスト(円)	-	866	839	894	
受益者負担比率(%)	-	54	46	41.8	
開館1日当たりコスト(円)	-	515,922	502,986	557,834	
備考	区民1人当たり・開館1日当たりコストがスポーツハウス(委託方式で運営)と比較して低いのは、運営方法等の違いによるものである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用者数	実績値	597,806	589,801	649,163	632,290
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) <input type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	<input checked="" type="radio"/> 区のスポート振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。					
現状・課題	<input type="radio"/> 令和元年度に実施している大規模改修において、既存設備を更新するとともに、バリアフリーの観点を含めることで、障がい者や高齢者を含めた多くの区民がスポーツを楽しむ環境を整備する必要がある。 <input type="radio"/> 区民ニーズに即した運営が行われているが、障がい者スポーツの推進、地域との連携について更なる取組が必要である。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 関係団体や利用者等からの意見・要望を踏まえた改修工事を実施する。 <input type="radio"/> 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者へ働きかけを行う。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> H28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について <input type="radio"/> H29年予特 大規模改修時の代替施設について					



平成30年度は、令和元年度の大規模改修工事の事前準備等に伴い3月中から休館したため、利用者数が減少した。



平成30年度は、令和元年度の大規模改修工事の事前準備等に伴い3月中から休館したため、利用者数が減少した。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02		
施設名	荒川遊園スポーツハウス				
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成5年 3,070,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年7月26日	職員数	79		
構造	RC造(一部S造)	階層	地上3階、地下1階		
面積	敷地面積	1399.9㎡			
	延床面積	4493.12㎡			
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社ドウ・スポーツプラザ	期間	平成29年4月1日 平成30年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営(アリーナ、トレーニングルーム、会議室1、2、事務室、温水プール) ②教室運営(通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始(12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	団体利用者数(人)	17,583	19,086	17,535	16,307	20,000
	個人利用者数(人)	90,109	88,861	88,271	93,761	94,000
	教室受講者数(人)	56,991	58,160	54,341	58,029	59,400
	アリーナ稼働率(%)	28	44.0	49	49	50
	会議室稼働率(%)	26	28	24	23	23
	教室開催数(回)	2,506	2,509	2,285	2,514	2,519
	教室申込率(%)	48	49	50	53	54
	開館日数(日)	354	355	355	355	355
	委託料(千円)	89,283	91,964	101,825	95,811	103,559
指定管理に係る費用						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は一部施設利用停止に伴い、団体利用者数、個人利用者数、教室受講者数ともに減少。 平成30年度は平成29年度と比較して団体利用は減少したものの、個人利用者及び教室受講者数は増加した。 					

III 財務諸表

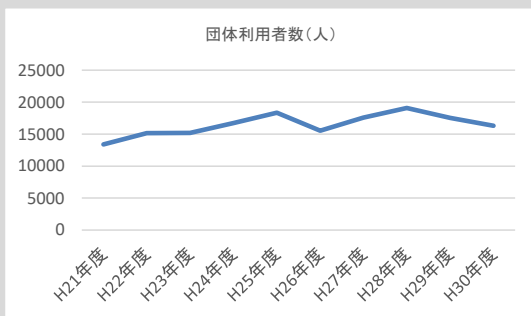
(単位:千円)

	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	11,665	13,797	2,132	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	182,014	180,643	▲ 1,371	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	8,735	0	▲ 8,735	都支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	43,791	47,516	3,725	0	0	0	
	減価償却費	82,888	87,728	4,840	その他	29,244	30,571	1,327	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	73,035	78,087	5,052	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,224	1,564	▲ 1,660	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 215,491	▲ 205,645	9,846	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	288,526	283,732	▲ 4,794	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 215,491	▲ 205,645	9,846	0	0	0	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 215,491	▲ 205,645	9,846	0	0	0		
貸借対照表	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	559	540	▲ 19	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	0	
	有形固定資産	1,121,929	1,036,273	▲ 85,656	賞与引当金	559	540	▲ 19	0	0	0	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	
	建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	8,165	5,279	▲ 2,886	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 1,989,310	▲ 2,074,966	▲ 85,656	特別区債	0	0	0	0	0	0	
	工作物等	37,588	37,588	0	退職給与引当金	8,165	5,279	▲ 2,886	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	8,724	5,819	▲ 2,905	0	0	0		
建設仮勘定	3,461	3,461	0	正味財産	1,127,025	1,042,202	▲ 84,823	0	0	0		
その他の固定資産	10,359	8,287	▲ 2,072	正味財産の部合計	1,127,025	1,042,202	▲ 84,823	0	0	0		
資産の部合計	1,135,749	1,048,021	▲ 87,728	負債及び正味財産の部合計	1,135,749	1,048,021	▲ 87,728	0	0	0		
備考	行政費用の物件費の維持補修費については、家屋等修繕費の支出がなかったため減少した。行政収入については、施設使用料、行政財産使用料(自動販売機)、自動販売機の電気料で収入があり、利用者増により増加した。											

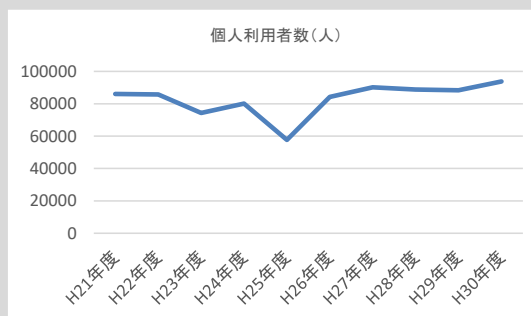
指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	-	63	64	67.1	
	1㎡当たりコスト(円)	-	52,754	64,215	63,148	
	受益者負担比率(%)	-	20	15	16.7	
	開館1日当たりコスト(円)	-	667,690	812,749	799,245	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	1,427	1,802	1,688	
	区民1人当たりコスト(円)	-	1,112	1,344	1,322	
評価指標等						
備考	管理運営は委託方式を採用しているため、スポーツセンターと比較して物件費が多くかかっていることにより、開館1日当たりコスト・利用者1人当たりコストが多くかかっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)	
	利用者数	目標値	-	-	-	-	173,400
		実績値	164,683	166,107	160,147	168,097	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> その他(指定管理者制度の導入検討)						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	○尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。						
現状・課題	<input type="radio"/> 施設や設備の計画的な修繕を実施する必要がある。 <input type="radio"/> バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 <input type="radio"/> 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。 <input type="radio"/> 荒川総合スポーツセンター大規模改修工事期間中の代替施設としての役割が求められている。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 利用者からの意見・要望を踏まえて、施設運営や修繕において改善を検討する。 <input type="radio"/> 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。 <input type="radio"/> 荒川総合スポーツセンター大規模改修期間中の代替施設として、受入れ可能な体制(ハード・ソフト)の整備に努める。						
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> H26 6月定例会 ボルダリングの設置について <input type="radio"/> H29 予特 音響設備の更新、会議室什器の更新、子ども用便座の設置について						



減少傾向が見られる。



平成25年度は、温水プール利用休止により利用者数が大きく減少した。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和57年7月	5,600,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数			
構造			階層			
面積	敷地面積				17,415 m ²	
	延床面積				m ²	
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	56台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ		
駐輪場の状況	250台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面):TM共同事業体(H28.4.1~H31.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周):ケルンビルシステム(H31.4.1~H32.3.31)					
対象者	一般区民他、区民以外も可					
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30				
	休日	年始1/1~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
		24,930	23,760	24,876	21,492	25,200
	野球場(件数)	1,385	1,320	1,382	1,194	1,400
	稼働率	49	47	49	44	47
	開場日数	363	362	362	314	362
	委託料(円)	3,885,580	3,847,780	8,885,440	8,885,440	9,260,095
に指定 に係る 管理 費用等						
備考	屋外施設のため、天候により稼働率が変動するものの、休日は80%以上、平日は30%程度利用されている。					

III 財務諸表

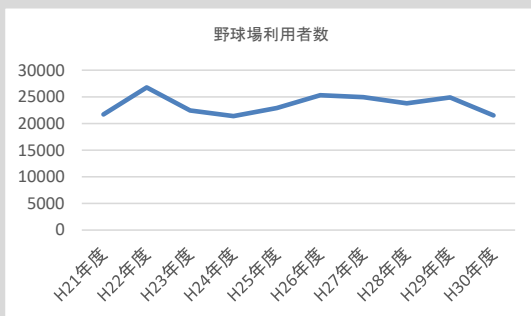
(単位:千円)

	勘定科目			差額	勘定科目			差額
	H29年度	H30年度			H29年度	H30年度		
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	13,810	15,255	1,445	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	522	292	▲230	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	5	24	19	使用料及び手数料	2,986	2,762	▲224
	減価償却費	54	54	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,986	2,762	▲224
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲11,405	▲12,863	▲1,458
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	14,391	15,625	1,234	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲11,405	▲12,863	▲1,458
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲11,405	▲12,863	▲1,458	
貸借対照表	勘定科目			差額	勘定科目			差額
	H29年度	H30年度			H29年度	H30年度		
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	3,067,320	3,067,267	▲53	賞与引当金	0	0	0
	土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	350,077	350,077	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲349,491	▲349,545	▲54	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,067,320	3,067,267	▲53	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,067,320	3,067,267	▲53	
資産の部合計	3,067,320	3,067,267	▲53	負債及び正味財産の部合計	3,067,320	3,067,267	▲53	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、照明点検、受付業務等)である。行政収入では、運動場の使用料で収入があった。							

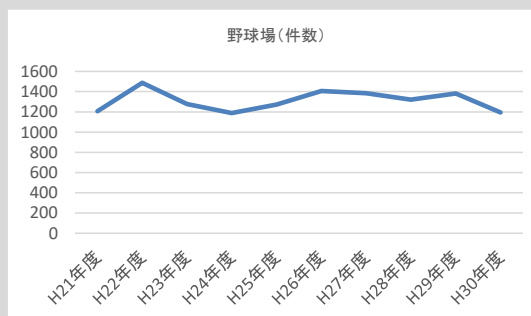
指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	-	100	100	99.8	
	1㎡当たりコスト(円)	-	803	826	897	
	受益者負担比率(%)	-	20	21	17.7	
	開館1日当たりコスト(円)	-	38,633	39,754	49,761	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	589	579	727	
	区民1人当たりコスト(円)	-	66	67	73	
備考	平成30年度は荒川総合スポーツセンターの大規模改修工事に伴い、開場日数が減少したため、開館1人当たりのコストが増加した。その他の各コストについては、大きな変動なく推移している。他の野球場と比較して1人当たりに要するコストが低いのは、立地状況が良く、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	1,406	1,385	1,320	1,382	1,400
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	立地に恵まれ、設備も整っているため平日昼間の利用率も高い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため剪定や消毒などの対策が必要である。 <input type="radio"/> 野球場は区道、民間住宅に隣接しているため安全対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 施設周辺の歩行者等への注意喚起を図るとともに、施設の安全対策(樹木剪定、ネット設置の検討)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



H30年度は仮設棟建設工事のため、31年2月12～同年4月1日午前中は休場し、利用者が減少した。



H30年度は仮設棟建設工事のため、31年2月12～同年4月1日午前中は休場し、件数が減少した。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成3年5月	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成3年5月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積				29,195 m ²
	延床面積				114 m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理：テニ5面(人工芝)、小広場、スリ-オンスリ-、多目的広場：シバ-人材センター(H31.4.1~H32.3.31) ②補修：テニ5面(人工芝)、小広場、スリ-オンスリ-、多目的広場：北川商会(H31.4.1~H32.3.31) ③駐車場管理運営業務：タイムス24(H30.9~H33.3.31) ④多目的広場トバ清掃：都立建設工業(H314.1~H32.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月9:00~18:00、10・3月9:00~17:00、11~2月9:00~16:00(4~10月土日祝7:00~、11~12月土日祝8:00~)				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	庭球場、多目的広場等利用者数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
		39,512	40,195	26,824	23,900	32,700
	庭球場、多目的広場等(件数)	10,281	10,837	8,732	8,440	9,600
	稼働率(庭球場)	60	60	51	52	57
	稼働率(多目的)	61	45	49	24	60
	開場日数	360	359	359	359	359
	委託料(円)	9,080,052	9,429,450	18,887,040	18,501,387	21,266,115
指定管理に係る費用						
備考	平成29~30年度は、多目的広場の拡張整備工事(H29年5月~H30年9月)のため、利用者が減少した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

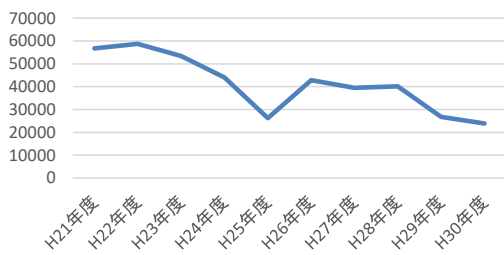
行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	9,045	32,958	23,913	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	663	1,277	614	都支出金	0	22,499	22,499
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,987	29	▲4,958	使用料及び手数料	3,998	8,082	4,084
	減価償却費	855	1,117	262	その他	418	16,128	15,710
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,416	46,709	42,293
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲50,210	▲29,636	20,574
	その他行政費用	39,076	40,964	1,888	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	54,626	76,345	21,719	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲50,210	▲29,636	20,574
	特別費用(g)	5,022	0	▲5,022	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲5,022	0	5,022	当期収支差額(e)+(h)	▲55,232	▲29,636	25,596	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	6,768	93,988	87,220	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	25,905	43,776	17,871	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲23,053	▲23,908	▲855	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	44,085	114,550	70,465	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲40,168	▲40,430	▲262	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	13,668	97,341	83,673
建設仮勘定	6,900	0	▲6,900	正味財産の部合計	13,668	97,341	83,673	
その他の固定資産	0	3,353	3,353	負債及び正味財産の部合計	13,668	97,341	83,673	
資産の部合計	13,668	97,341	83,673					
備考	行政費用では、物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)である。その他行政費用は、多目的広場拡張整備工事に要した経費である。行政収入については、都支出金(多目的広場整備に係る都補助金)と使用料及び手数料(運動場の使用料)で収入があった。							

指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	94	90	40.6	
1㎡当たりコスト(円)	-	405	1,928	2,695	
受益者負担比率(%)	-	43	7	10.6	
開館1日当たりコスト(円)	-	31,939	152,162	212,660	
利用者1人当たりコスト(円)	-	285	2,036	3,194	
区民1人当たりコスト(円)	-	54	255	356	
財務指標・評価指標等					
備考	平成29年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

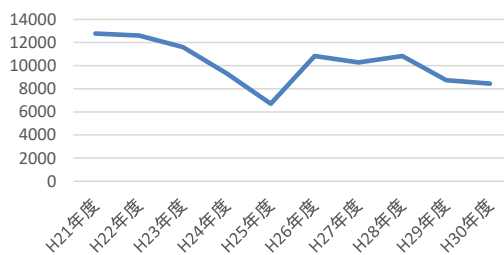
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 10,841	10,281	10,837	9,500
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	テニスコートは平日も利用率が高い					
現状・課題	○テニスコート人工芝を安全に利用できる状態に保つ方策が必要である。 ○多目的広場拡張整備工事後のリニューアルオープンについて、広く区民に周知し利用促進を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○テニスコート人工芝を適切な状態に保つため、休場日を設け定期的にメンテナンスを行う。 ○多目的広場のリニューアルオープンについて、区報、HPを活用した周知と合わせ、各競技団体への周知等を積極的に行う。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について					

庭球場、多目的広場等利用者数



H25年は土壌対策工事、H29年~30年は多目的広場整備工事により減少

庭球場、多目的広場等(件数)



H25年は土壌対策工事、H29年~30年は多目的広場整備工事により減少

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和54年3月	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成27年4月	370,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月	職員数	0	1	
構造					
面積	敷地面積	7,339 m ²			
	延床面積	569 m ²			
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務(管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : シルバー人材センター(H31.4.1~H32.3.31) ②補修業務(多目的グラウンド・小広場・駐輪場): 中田興業(H31.4.1~H32.3.31) ③清掃業務(管理事務所): エクシズ(H30.4.1~H33.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00~17:00(5月~9月は1時間延長可)				
	休日	平日・年末年始12/29~1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	多目的グラウンド利用者数	8,426	8,096	7,722	8,712	9,130
	小広場利用者数	648	1,272	1,278	1,318	1,382
	多目的グラウンド(件数)	383	368	351	396	415
	小広場(件数)	324	636	639	659	691
	稼働率(多目的)	86	94	97	96	97
	稼働率(小広場)	36	82	85	80	85
	開場日数	117	116	119	115	119
委託料(円)	8,627,390	6,319,143	6,335,414	6,335,414	6,565,924	
に指定 に係る 管理 費						
備考	土日祝のみの貸出であるため、稼働率は高く推移している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	6,669	7,003	334	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	297	297	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1	1	0	使用料及び手数料	650	690	40
	減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	650	690	40
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲36,960	▲37,551	▲591
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	37,610	38,241	631	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲36,960	▲37,551	▲591
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲36,960	▲37,551	▲591	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,196,246	1,165,306	▲30,940	その他の流動負債	0	0	0
	土地	709,032	709,032	0	固定負債	0	0	0
	建物	217,754	217,754	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲29,397	▲35,276	▲5,879	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	374,039	374,039	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲75,182	▲100,242	▲25,060	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,196,246	1,165,306	▲30,940
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,196,246	1,165,306	▲30,940	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,196,246	1,165,306	▲30,940	
資産の部合計	1,196,246	1,165,306	▲30,940					
備考	行政費用では、物件費が多くなっている。物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)である。30年度は設備修繕をしたため、維持補修費が発生した。行政収入では、運動場の使用料で収入があった。							

指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	12	18	22.9	
1㎡当たりコスト(円)	-	5,127	5,125	5,211	
受益者負担比率(%)	-	2	2	1.8	
開館1日当たりコスト(円)	-	324,388	316,050	332,530	
利用者1件当たりコスト(円)	-	4,017	4,179	3,813	
区民1人当たりコスト(円)	-	176	175	178	
財務指標・評価指標等					
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、平日は中学校として使用しているため、土日祝のみの可動によるものである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

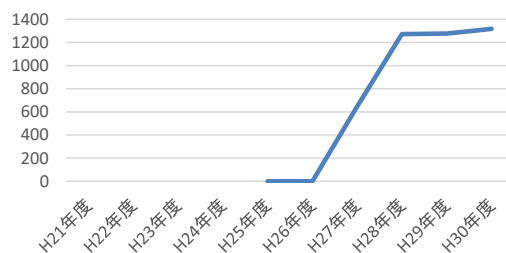
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	実績値	-	707	1,004	1,055	1,100
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから少年サッカーの利用者が多い。						
現状・課題	<input type="radio"/> 駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、対応が必要である。 <input type="radio"/> 小広場では日陰がないため、熱中症対策が必要である。 <input type="radio"/> 人工芝は劣化していくため、今後は補修対応が必要となってくる。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保している。 <input type="radio"/> 日除けを確保するなどの熱中症対策を行う。あわせて、気温と人工芝の表面温度について計測し、必要に応じて利用者へ注意喚起を行っている。 <input type="radio"/> 施設の補修計画を立てて対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

多目的グラウンド利用者数



開設以降、概ね大きな変動なく推移している。

小広場利用者数



開設以降、概ね大きな変動なく推移している。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和62年4月	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成5年10月	140,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年4月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積				5,430 m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①受付・開閉場(運動場) : ドウ・スポーツプラザ (H31.4.1~H32.3.31) ②補修業務(運動場) : 上園緑地建設 (H31.4.1~H32.3.31) ③樹木剪定(運動場・スポーツハウス) : パシフィック (H31.4.1~H32.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	9:00~20:00 (日・祝は7:00~20:00)				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	運動場利用者数	15,660	21,480	20,940	21,160	22,000
	運動場(件数)	783	1,074	1,047	1,058	1,100
	稼働率	63	62	64	57	60
	開場日数	360	359	359	359	359
	委託料(円)	7,067,747	5,337,036	6,756,272	6,755,272	7,400,599
備考	平成30年度は平成29年度と比較して、利用者数及び利用件数が増加した。 ※平成27年度は散水設備の設置工事を実施し、施設を休場(平成27年1~3月)					

III 財務諸表

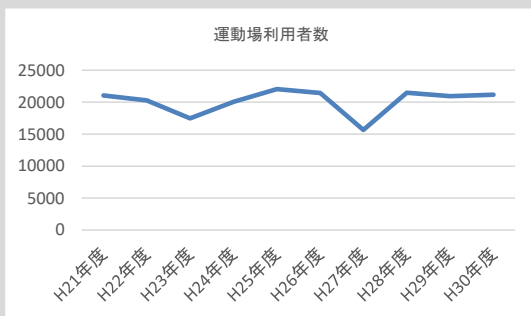
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	6,900	6,901	1	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	206	38	▲168	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3	0	▲3	使用料及び手数料	1,091	1,251	160
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,091	1,251	160
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲6,018	▲5,688	330
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	7,109	6,939	▲170	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲6,018	▲5,688	330
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲6,018	▲5,688	330
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	140,235	140,235	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲140,235	▲140,235	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、外周樹木剪定)である。 行政収入では、運動場の使用料で収入があった。							

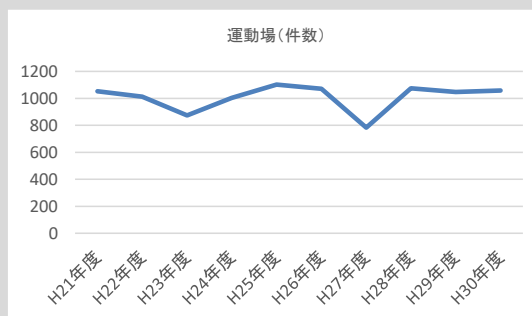
指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却費(%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0
	1㎡当たりコスト(円)	-	1,003	1,309	1,278	
	受益者負担比率(%)	-	24	15	18.0	
	開館1日当たりコスト(円)	-	15,173	19,802	19,329	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	254	339	328	
	区民1人当たりコスト(円)	-	26	33	32	
評価指標等						
備考	施設規模が大きくないため、開場1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,071	783	1,074	1,047
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	<input type="radio"/> 多目的な利用(サッカー・野球・地域のイベント等)が可能のため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 <input type="radio"/> 強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、散水等の近隣への対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> グラウンド点検整備の充実を図る。 <input type="radio"/> 利用者とも協力して、散水を実施する。 強風が予想される際には、事前に散水を行うなど、砂ぼこり発生を防ぐ取組を継続していく。					
議会、利用者等からの意見	OH29決特 平日の運動場の開放について					



直近5年間では工事のあったH27を除き、平均的に推移している



直近5年間では工事のあったH27を除き、平均的に推移している

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和34年4月	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成27年5月	101,079		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積	35,057 m ²			
	延床面積	m ²			
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input checked="" type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場):ケルンビルサービス(H31.4.1~H32.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(H31.4.1~H32.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
		17,208	16,650	19,998	20,646	21,258
	野球場(件数)	956	925	1,111	1,147	1,181
	稼働率	13	10	15	14	14
	開場日数	360	359	359	359	359
	委託料(円)	11,999,751	13,003,856	17,370,097	19,390,277	19,241,034
	指定管理に係る費用					
備考	平成30年度は、降雨によって休場する日が平成29年度と比較して少なく、利用者数が増加した。					

III 財務諸表

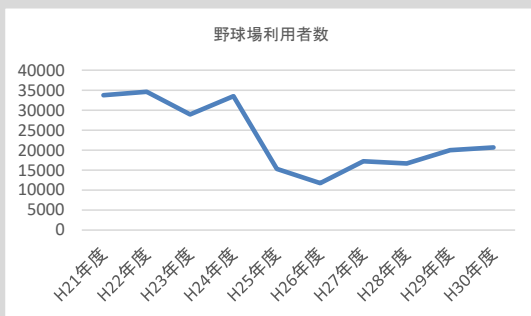
(単位:千円)

	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	44,200	44,843	643	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	0	230	230	都支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	2	6	4	使用料及び手数料	687	641	▲46	687	641	▲46	
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	687	641	▲46	687	641	▲46	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲50,735	▲51,658	▲923	▲50,735	▲51,658	▲923	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	51,422	52,299	877	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲50,735	▲51,658	▲923	▲50,735	▲51,658	▲923	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲50,735	▲51,658	▲923	▲50,735	▲51,658	▲923		
貸借対照表	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	101,206	93,985	▲7,221	賞与引当金	0	0	0	0	0	
		土地	993	993	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	
		建物	14,660	14,660	0	固定負債	0	0	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲1,982	▲2,430	▲448	特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	101,223	101,223	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲13,688	▲20,461	▲6,773	その他の固定負債	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	101,206	93,985	▲7,221	101,206	93,985	▲7,221	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	101,206	93,985	▲7,221	101,206	93,985	▲7,221	
	資産の部合計	101,206	93,985	▲7,221	負債及び正味財産の部合計	101,206	93,985	▲7,221	101,206	93,985	▲7,221	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)である。日常補修業務(委託料・物件費)は「少年運動場」の経費も含む(一括契約)。行政収入では、運動場の使用料で収入があった。											

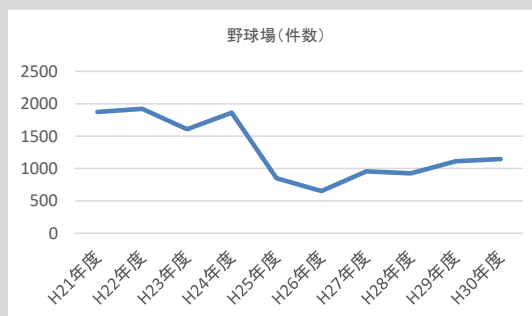
指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	-	7	14	19.8	
	1㎡当たりコスト	-	1,143	1,467	1,492	
	受益者負担比率(%)	-	2	1	1.2	
	開館1日当たりコスト(円)	-	111,641	143,237	145,680	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	2,407	2,571	2,533	
	区民1人当たりコスト(円)	-	188	240	244	
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	652	956	925	1,291	1,300
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者にとって安全で利用しやすいよう、貸出ルールや運営方法などソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



ここ数年間で利用数が増加傾向にある。



ここ数年間で利用数が増加傾向にある。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和45年11月	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積	47,641 m ²			
	延床面積	m ²			
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	70台	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム(H31.4.1~H32.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(H31.4.1~H32.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	野球場、サッカー場等利用者数	59,680	87,508	79,824	78,880	90,800
	野球場、サッカー場等(件数)	3,200	4,712	4,218	4,230	4,800
	稼働率(野球場)	30	32	27	27	30
	稼働率(サッカー場)	31	27	28	25	30
	稼働率(多目的)	-	24	35	28	30
	開場日数	360	359	359	359	359
	委託料(円)	20,139,741	25,230,091	29,567,471	27,908,133	38,738,314
に指定 に係る 管理 費						
備考	平成30年度は、サッカー場の利用件数は減少したものの、野球場の利用件数が増加し、運動場全体の利用件数が増加した。運動場1回当たりの利用者数が平成29年度と比較して少なかったため、利用者数が減少した。					

III 財務諸表

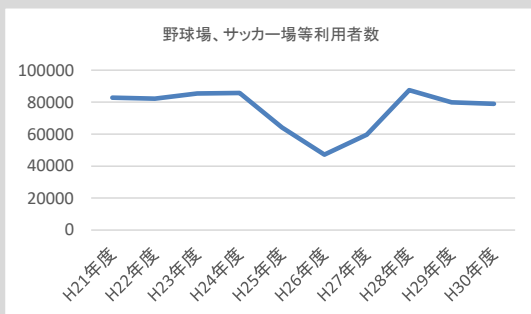
(単位:千円)

勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	3,003	2,984	▲19	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	598	297	▲301	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	1,041	807	▲234
	減価償却費	4,889	4,958	69	その他	0	0	0
	不納欠損・賞引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,041	807	▲234
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲10,738	▲7,432	3,306
	その他行政費用	3,289	0	▲3,289	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	11,779	8,239	▲3,540	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲10,738	▲7,432	3,306
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲10,738	▲7,432	3,306	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	26,337	21,379	▲4,958	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	13,574	13,574	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲896	▲1,344	▲448	特別区債	0	0	0
	工作物等	74,848	74,848	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲61,189	▲65,698	▲4,509	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	26,337	21,379	▲4,958	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	26,337	21,379	▲4,958	
資産の部合計	26,337	21,379	▲4,958	負債及び正味財産の部合計	26,337	21,379	▲4,958	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)である。日常補修業務は「西新井橋野球場」に含む(一括契約)。平成29年度は防球フェンスの改修工事(その他行政費用)を行った。行政収入では、運動場の使用料で収入があった。							

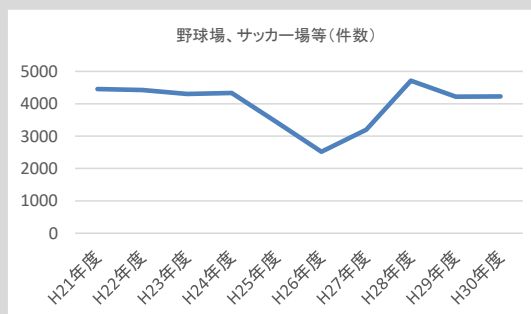
指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	69	70	75.8	
1㎡当たりコスト(円)	-	261	247	173	
受益者負担比率(%)	-	7	9	9.8	
開館1日当たりコスト(円)	-	34,652	32,811	22,950	
利用者1人当たりコスト(円)	-	142	148	104	
区民1人当たりコスト(円)	-	58	55	38	
財務指標・評価指標等					
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。 日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	利用件数	目標値	実績値			4,800
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者にとって安全で利用しやすいよう、貸出ルールや運営方法などのソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



H30は運動場1回当たりの利用者数が平成29年度と比較して少なかったため、減少した。



H30は野球場利用件数が増加した。